

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和3年6月14日

和歌山県知事 殿

提出者

住 所 大阪府中央区南船場1-14-10

氏 名 大成ロテック株式会社 関西支社

支社長 安江 良和

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6262-1882

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成ロテック株式会社 関西支社
事業場の所在地	大阪府中央区南船場1-14-10
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	舗装工事業
②事業の規模	完成工事高 12,370百万円
③従業員数	142人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 【前年度（令和2年度）実績】 （これまでに実施した取り組み） 産業廃棄物の排出量は、年度毎の請負工事受注量の左右され、排出量の削減が困難なため、工事検討会でロスのない工事方法や廃棄物の分別の検討をして、排出の抑制をおこなっている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 【目標】 上記、令和2年度と同様に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 例年、産業廃棄物に関する勉強会を年に2回実施している。 がれき類、混合廃棄物は分別の徹底を実施している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に加えて、紙くずについても分別を実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後の予定はなし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
②計画	(これまでに実施した取組) 例年、産業廃棄物に関する勉強会を年に2回実施している。 がれき類、混合廃棄物は分別の徹底を実施している。 電子Manifestの推進。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) 上記、令和2年度と同様に取り組む。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施の予定はなし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 例年、産業廃棄物に関する勉強会を年に2回実施している。 処理においては、再生利用業者への処理委託を行い、再利用を実施している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組) 委託先処理業者には、実施確認を実施する。			
※事務処理欄			

別添1 処理工程図

がれき類 ⇒ 再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化
木屑 ⇒ 中間処理業者へ委託し、選別破碎、再資源化
廃プラスチック類 ⇒ 再生処理業者に委託し、再資源化
混合廃棄物 ⇒ 中間処理業者に委託し、選別破碎、再資源化

別添2 管理体制図

(管理体制図)

支社長(廃棄物処理統括責任者)

↓

支社 安全環境部長(環境管理者:産業廃棄物管理担当)

↓

工事事務所長(環境管理者:廃棄物管理担当)

↓

工事担当責任者(産業廃棄物管理責任者)

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和2年度)実績量
計画:今年度(令和3年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	36.4	32.0	-	-	-	-	-	-	-	-	36.4	32.0	0.0	0.0	36.4	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	19.7	18.0	-	-	-	-	-	-	-	-	19.7	18.0	0.0	0.0	19.7	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	152.4	137.0	-	-	-	-	-	-	-	-	152.4	137.0	0.0	0.0	152.4	137.0	0.0	0.0	0.0	0.0
コンクリート片	998.0	898.0	-	-	-	-	-	-	-	-	998.0	898.0	0.0	0.0	998.0	898.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アス・コン片	14,280.7	12,852.0	-	-	-	-	-	-	-	-	14,280.7	12,852.0	0.0	0.0	7,949.2	12,852.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設混合廃棄物(安定型)	9.1	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	8.0	0.0	0.0	9.1	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設混合廃棄物(管理型)	20.8	19.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.8	19.0	0.0	0.0	20.8	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	15,517.6	13,964.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15,517.6	13,964.5	0.0	0.0	9,186.1	13,964.5	0.0	0.0	0.0	0.0